

---

## 来賓挨拶

ファイザー株式会社 代表取締役社長  
原田 明久

---

出捐企業であるファイザー株式会社を代表して、一言、ご挨拶を申し上げます。

まず、今年で25回目にあたる本フォーラムの開催、誠におめでとうございます。これもひとえに、厚生労働省の後援、医療経済研究機構の協賛、そして何よりも各選考委員の先生方のご尽力があってこそだと思っております。

今年は166件に及ぶ研究助成応募があり、平成30年度の研究助成として、40名の皆さまが受賞されるとのことでございます。受賞された皆さま、本当におめでとうございます。2年後、第27回のヘルスリサーチフォーラムでその研究成果の発表を楽しみにしております。皆さまの研究成果が1人でも多くの患者さんのQOL向上につながることを祈念しております。

昨年の本フォーラムで、医療における企業活動が、企業中心の考え方から患者さん中心の考え方に変わってきているということをお話させていただきました。現在、ファイザー株式会社では、患者さんを第一に考える Patients First という企業文化を促進する取り組みを実施しております。全ての部署で、日々の活動がどのように Patients First につながるのかを念頭に置きながら、社員一人ひとりが業務を遂行しております。また、会社としても、Patients First を体現する取り組みとして様々な活動を行っております。ファイザーでは、日本で事業展開している疾患領域にこだわらず、約80を超える患者団体の日常活動やネットワークづくり、市民活動団体への助成プログラム、また、このファイザーヘルスリサーチ振興財団への助成などを積極的に行っております。我々のミッションである革新的な新薬を開発することに加え、このような活動を支援することの重要性を日々感じながら、ステークホルダーの先生方や皆さまと協力し、日本の医療に貢献していきたいと考えております。

最後に、本日参加された全ての皆さまの益々のご健勝と、ご研究の更なる発展を心より祈念いたしまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。